

* 日本語用論学会 第 21 回大会 プログラム速報版 *
 Program of the 21st Annual Meeting of the Pragmatics Society of Japan 2018
First Circular

【日時】 2018 年 12 月 1 日 (土) ・ 2 日 (日)
 【場所】 杏林大学 井の頭キャンパス

December 1st and 2nd, 2018
 Kyorin University, Inokashira Campus

大会参加費 registration fees 会員 members : 2,000 円 非会員 non-members : 3,000 円
--

◀12月1日(土)▶			
	口頭発表 Oral presentations 第1室 F303		ワークショップ Workshops 第2室 F309
10:00 } 10:35	アメリカ英語の談話における like の出現 塚本亜美 (新居浜工業高等専門学校)	10:00 } 11:55	『相互行為』と語用論：社会的関係の動的性質に関する実践研究と教育への応用 竹田らら (東京電機大学)、小川洋介 (神戸大学)、種市瑛 (横浜市立大学)、田辺和子 (日本女子大学)
10:40 } 11:15	英語指示詞の非制限的用法について 孟鷹 (名古屋大学院生)		第3室 F310 発話のはじめと終わり ～多様化する語用論的機能～ 尾谷昌則 (法政大学)、大山隆子 (北海道大学院生)、沈雪君 (法政大学院生)
11:20 } 11:55	段落末における which speaking of の諸特徴と機能 山内昇 (大同大学)		

11:30	受付開始 Registration			
	口頭発表 Oral presentations 第1室 F303	第2室 F309	第3室 F310	第4室 F311
12:00 } 12:35	日本語の自他交替：協調の原理の観点から 前田宏太郎 (東京大学院生)	Contrastive analysis of linguistic choices in regulative speech acts: the case of English and Japanese legal terms and policies Sonya CHIK (graduate student, the Hong Kong Polytechnic University)	日中語母語話者の「否定的評価」に関する対照研究—談話完成テストの分析を中心に— 儲葉明 (筑波大学院生)	相互行為場面の研究で用いられる指示詞の記述—分野間の交流を目指して— 平田末季 (北海道大学)
12:40 } 13:15	ケド文の多義性の構造：「対比」および「参考情報の提示」を両極とする連続体モデル 水田洋子 (国際基督教大学)	Sequential Incoherency in English Conversation: Focusing on the Appendor Question Sally JONES (graduate student, Nagoya University)	断り発話の構成要素に関する日中対照研究—認知とポライトネスの接点から 高揚 (筑波大学院生)	引用動詞の省略に関する一考察—省略から文法化へ 尹盛熙 (関西学院大学)
13:20 } 13:55	直後の行為を拘束する発話行為—終助詞ヨ・ネのふるまひの変化を例に— 春日悠生 (京都大学院生)	Rapport Management in Apologizing: From English Speech Acts Corpora Toshihiko SUZUKI (Waseda University), Ami SATO (Otaru University of Commerce)	発話の中の聞き手指示方法の選択に関する語用論的分析—「あなた」と「固有名詞」との選択を中心に— 都賢娥 (北海道大学院生)	インターネットスラングにおける意味変化—新規表現「耐え」を中心に— 林智昭 (近畿大学)、松浦光 (横浜国立大学)
14:00 } 14:35	バラエティ番組の出演者のイメージ構築を図る表現行動の研究—沢尻エリカ氏は本当にいい人になったのか— 金載勲 (大阪大学院生)	Please smile when you nod: The use of smile in backchannel sequences Saya IKE (Sugiyama Jogakuen University), Jean MULDER (University of Melbourne)	呼びかけと項の連続性—落語に見られる対称人称詞を例に— 東出朋 (国立釜慶大学)	メディアなどで見られる拡張的な連体修飾表現の分析：主観性と間主観性の観点から 神澤克徳 (京都工芸繊維大学)

サロン
語用論茶寮
14:00~15:35

	ポスター発表 Poster presentations F棟3階ロビー					
14:35 } 15:35	Figurative Expressions は連鎖の中でどう使われるか—話題転換における役割— 木野緑 (早稲田大学ほか)	日本人はどのようにユーモアを語るか—「わたしのちょっと面白い話コンテスト」からみた語りの構造— 張洋子 (東京外国語大学院生)	日本語の雑談における物語の談話構造 張末末 (早稲田大学院生)	「虚辞 + COME」存在文の類型論的調査—動詞にかかる制限と意味上の主語の意味タイプの関連性に関して— 三野貴志、芝田思郎、服部拓哉 (大阪大学院生)	プロトタイプ義と語用の意味対称 西内沙恵 (国立国語研究所)	人はことばによっていかに傷つくか—ディスコーダンスの観点から 中川佳保 (大阪大学院生)
15:45 } 16:05	会員総会 Business meeting F309					
16:10 } 17:40	招待講演：伝康晴氏 (千葉大学/国立国語研究所) Plenary lecture: Dr. DEN Yasuharu (Chiba University / NINJAL) 「伝達意図とアドレス性 (仮題)」 F309					
17:50~	懇親会 Conference Banquet					

サロン
語用論茶寮

<<12月2日(日)>>					
9:20	受付開始 Registration				
	口頭発表 Oral presentations 第1室 F303	第2室 F309	第3室 F310	第4室 F311	
9:50 } 10:25	‘—p, I (don’t) {think/believe}’ における挿入節 I (don’t) {think/believe}の語用論的機能 森貞 (国立福井工業高等専門学校)	Onomatopoeia, Telop and Relevance: Making meaning more determinate Ryoko SASAMOTO (Dublin City University)	共同発話に見る日本語母語 話者の「言語ホスト性」— 接触場面における三者間課 題達成談話の分析から— ツォイ・エカテリーナ (東 洋大学)	会話で諷諭を使う二つの方 法 平川裕己 (神戸市外国語大 学院生)	
10:30 } 11:05	表意に貢献しない概念：the other way (a)round の場合 黒川尚彦 (大阪工業大学)	The Cultural Construction of the Self Affecting Figure- Ground Reversal Yusuke SUGAYA (Mie University)	会話におけるトラブルの責 任の所在を示す相互行為的 ストラテジー—他者開始・ 自己実行の修復で利用され る「だから」を例に— 中馬隼人 (名古屋大学院 生)	《賞賛》が「マウンティン グ」として作用する条件 市川真未 (創価大学)	
11:10 } 11:45	糖尿病にみる多様な想定に 対応した臨床での説明— 関連性理論の観点から— 神田千春 (上武大学/群馬 大学)	社会的迷惑行為の認知と注 意行動に対する背景諸要因 —社会的合意と日本語学習 による逆行転移に着目して— 林炫情 (山口県立大学)、 玉岡賀津雄 (名古屋大 学)、ムハマド・ジャミラ (マラヤ大学)	疑問表現に対する疑問表現 での応答をめぐる語用論的 考察 馬穎瑞 (重慶大学外国語学 院)	英語母語話者と日本人英語 学習者の要求談話の対照分 析—返金、返品・交換をめ ぐるロールプレイを資料と して— 山本綾 (昭和女子大学)	サロン 語用論茶寮 11:10~12:45
11:45 } 12:45	昼食休憩 Lunch				
12:45 } 17:00	第1回語用論グランプリ! F309 ファースト・ステージ A (12:45~14:15) 大堀壽夫 (慶應義塾大学)、椎名美智 (法政大学)、西阪仰 (千葉大学) ファースト・ステージ B (14:20~15:50) 井上逸兵 (慶應義塾大学)、西田光一 (山口県立大学)、松井智子 (東京学芸大学) ファイナル・ステージ (15:55~17:00) 実況：鍋島弘治朗 (関西大学)、解説：滝浦真人 (放送大学) レポーター：尾谷昌則 (法政大学)、秦かおり (大阪大学)				
17:00 } 17:10	閉会のあいさつ Concluding remarks				